

株式会社 ホンマ電機

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日)

作成日: 2024年7月30日

■計画の策定(Plan)

レポ:(1)

(1)対象組織と活動の内容

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 ホンマ電機
代表取締役 本間 健士

2) 所在地

認証・登録範囲:本社 神奈川県相模原市南区上鶴間1-12-1

3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者 会長 本間俊三
廃棄物管理責任者 常務 本間光広
事務局 本間 俊三
連絡先 電話 042-746-1616
FAX 042-747-3463
[e-mail toshizou@khf.biglobe](mailto:toshizou@khf.biglobe)
<http://honma-denki.jp/>

4) 事業活動の内容

本社: 電気・空調設備工事および付帯サービス
*既存建築物の電気設備工事・改修
*既存建築物の空調設備更新・修
*省エネ支援事業、故障時緊急サービス
*電気・空調設備関連商品の販売

建設業の許可

・電気工事業

許可番号:(般-27)26672
期限:令和3年3月14日
~令和8年3月14日

・管工事業

許可番号:(般-28)26672
期限:令和3年3月14日
~令和8年3月14日

5) 事業の規模

法人設立 昭和50年11月
資本金 2,500万円
主要工事・修理 合計約 690 件
製品出荷額:3.17億円(2023年度)

	本社
従業員数 (人)	18人
延床面積 (m ²)	277 m ²

■計画の策定(Plan)

(2)エコアクションの対象範囲

レポ2

- 1) 事業所 : 相模原市南区上鶴間1丁目12-1
- 2) 事業の範囲 : 本社の事業全般
- 3) 従事者 : 社員全員、パートも含む
- 4) 対象期間 : 2023年4月1日～2024年3月31日

5)

対象会社全景



■ 計画の策定(Plan)

(3)-1 課題とチャンス

レポ:2

代表者による経営における課題とチャンスの取りまとめ

	経営における課題	経営上のチャンス	環境経営方針
事業者の外部に起因するもの	<ul style="list-style-type: none"> ○改修工事に伴って発生する発生材の処分。 ○原材料費の高騰 ○保・工分離がどうなるか。 ○取引先が多岐にわたり、現場も遠近多岐にわたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○会社の立地として交通アクセスが良い。 ○事業所(倉庫・置き場)の広さ十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会や神社とのコミュニケーションをとり貢献する。 ○ガソリン消費を削減 ○撤去材の分別徹底 ○環境配慮設計・提案 ○リユースの徹底
事業者の内部に起因するもの	<ul style="list-style-type: none"> ○一人前の技術者になるのに、時間がかかる。 ○社員を教育・育成する指導者不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ○電気・空調設備でも、改修工事が多いことから比較的競争が少ない。 ○社内で消費するエネルギーが少ない ○社内で構築した事務システムによりが業務の見える化と効率化に寄与。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害復旧に寄与する資機材倉庫に備蓄あり、支援する。 ○浄水・下水の排出削減 ○紙の排出削減 ○事務用品のグリーン購入 ○使用機材の環境配慮

■計画の策定(Plan)

レポ3

(3)-2経営方針

要求3: 環境経営方針

株式会社 ホンマ電機の環境経営方針

基本理念

当社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識して環境経営に取り組み、事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮した行動をすることにより、低炭素社会の実現と生物多様性の保全を目指すとともに、次世代への継承に貢献します。

環境経営方針

1 電気・空調設備工事および付帯サービスを地域に密着しつつ環境経営の継続的改善を図り、技術力を発揮することで社会に貢献する。

2 環境関連法規、条例等を遵守し、環境汚染の未然防止に努めるとともに、次の活動に取り組み、環境負荷の低減に努めます。

(1) 電気、ガス、ガソリン等の省エネルギーを推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。

(2) 分別を徹底し、廃棄物の削減とリサイクルによる資源化を推進します。

(3) 適正使用による節水を推進し、総排水量を削減します。

(4) 再生コピー用紙の購入や裏紙の利用等による資源の有効利用を図ります。

(5) グリーン購入を積極的に推進し比率を高めます。

(6) 環境配慮提案営業に努め、資器材の選定や施工時の環境配慮を図ります。

(7) 化学物質管理を徹底し、コンプライアンスを尊重します。

3 地域社会とコミュニケーションを図り、地域社会の生活環境保全に努めます。

4 この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境教育を実施して、環境保全意識の向上に努めます。

2021年4月1日制定

株式会社 ホンマ電機
代表取締役 本間健士

■計画の策定(Plan)

(4)-1 環境経営目標

レポート4

要求3:環境経営方針の策定

環境経営目標・実施運用項目

環境経営目標	実施・運用項目	具体策・量
電力消費削減	<ul style="list-style-type: none"> 消費電力削減 事務所内・倉庫消費電力削減 空調温度設定 	太陽光発電と蓄電池設置 不要時消灯 冬21℃ 夏28℃
燃料削減	<ul style="list-style-type: none"> 全車両の燃料集計 エコドライブの徹底 車両入替時の配慮、検討 	走行km、給油の記録 アイドリング、タイヤ圧 燃料比較
一般廃棄物削減 (紙・缶・瓶)	冊子・使用済OA紙、空き缶、	リサイクル化
産業廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物再資源化促進 排出先の追跡調査 	担当者の配置 マニフェスト確実な実施
節水	<ul style="list-style-type: none"> 散水、洗車 洗濯 	最小限に まとめて
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> 購入品目のリスト化 	品目、品名、形式、発注先
提案営業推進	<ul style="list-style-type: none"> 営業部、技術部による検討会 	提案や見積を検討
地域コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 取引先とのコミュニケーション 立地地域とのコミュニケーション 一般社会とのコミュニケーション 	レポートの発信 自治会・神社・ボランティア HPを通じてレポート発信
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> PCB フロンガス 	取扱いの適正化 改修の適正化
健康施工	<ul style="list-style-type: none"> 暑さ・寒さ対応 作業環境 	送風型ジャケット等 音頭、換気

■取り組み状況の確認及び評価(Plan)

(4)-2 環境経営目標及びその実績

レポート4

要求6:環境経営目標・計画及びその実績

		基準値	2019	2020	2021	2022	2023		2024	2025	2026
		(基準年)	実績	実績	実績	実績	(目標)	実績	(目標)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素排出	kg-CO2	14,736	13,138	14,895	11,131	11,235	11,199	10,367	10,905	10,610	10,315
	基準年度比	2015年	89%	101%	76%	76%	76%	70%	74%	72%	70%
自動車燃料による二酸化炭素排出量	kg-CO2	29,816	26,618	23,562	21,622	22,266	23,256	20,495	22,660	22,362	22,064
	基準年度比	2015年	89%	79%	73%	75%	78%	69%	76%	75%	74%
一般廃棄物の削減 (紙・缶・ビンなど)	kg	2,100	1,962	1,465	1,455	1,610	1,596	1,489	1,530	1,512	1,491
	基準年度比	2015年	93%	70%	69%	77%	76%	71%	74%	72%	71%
産業廃棄物の削減 (廃プラ)(金属含む)	kg	3,225	5,210	3,470	3,902	3,996	4,193	5,404	4,193	4,193	4,192.5
	基準年度比	2015年	162%	108%	121%	124%	130%	168%	130%	130%	130%
水道水の削減	m ³	210	177	198	197	195	189	185	189	189	189
	基準年度比	2015年	84%	94%	94%	93%	90%	88%	90%	90%	90%
グリーン購入の推進	品目	18	25	28	30	32	35	35	35	35	35
	基準年度比	2015年	139%	156%	167%	178%	194%	194%	194%	194%	194%
環境配慮製品の販売	件数	428	455	460	490	493	495	494	514	522	531
	基準年度比	2015年	106%	107%	114%	115%	116%	115%	120%	122%	124%
CO ₂ 排出総計	kg-CO2	44,552	39,756	38,457	32,753	33,501	34,456	30,862	33,565	32,972	32,379

*排出係数は0.457 (kg-co2/kwh) : 2021年度東京電力の調整後排出係数

※当社は化学物質は使用していない

■ 取り組み状況の確認及び評価(Plan)

(5) 環境経営計画の策定

レポ:5

要求6:環境経営目標及び計画の策定

		常務	責任者	期間及び予定
6-2 主な環境経営計画の内容				
(1)	電力使用量の削減による二酸化炭素排出量の削減			通 年
	・屋上に太陽光パネルを設置 第1期2021年12月 第2期2024年1月(実施)	会長	会長	R6年1月
	・未使用時の照明器具の消灯	橋本	橋本	通 年
	・室内温度設定の適正化(夏季28度C、冬季21度C)	常務	常務	通 年
	・倉庫内照明の不使用时消灯	橋本	橋本	通 年
(2)	車両用燃料消費量の削減による二酸化炭素排出量の削減			通 年
	・アイドリングストップの実効を徹底する	運転者	常務	通 年
	・車両のエアコンを控えめにする	運転者	常務	通 年
	・走行日報による車両管理	運転者	常務	通 年
	・車種別燃費把握などの車両管理	運転者	常務	通 年
	・タイヤの空気圧管理による燃費削減	運転者	常務	通 年
(3)	OA用紙や梱包段ボールなどのリサイクル化による二酸化炭素排出量の削減			通 年
	・不要のカタログや冊子のリサイクル化	安村	安村	通 年
	・メモにはコピーの裏面使用の徹底	橋本	橋本	通 年
	・段ボールリサイクルの徹底	安村	安村	通 年
(4)	産業廃棄物の適正分別による再資源化			通 年
	・金属などの有価物分別による廃プラ混載量の削減	安村	常務	通 年
	・排出先の把握とマニフェスト実行	安村	常務	通 年
(5)	水資源使用量の削減	橋本	橋本	通 年
	・節水に心がける	橋本	橋本	通 年
(6)	環境に配慮した提案営業の実施			通 年
	・省エネ設計に基づく提案営業推進	技術課	常務	通 年
	・省エネ機器や設備への更新を推奨	営業課	常務	通 年
	・フロン代替化への提案	技術課	常務	通 年
(7)	地域ボランティア活動への参加		会長	通 年
	・周辺自治会活動への支援協力		会長	通 年
	・地域のお祭りや行事への支援協力		会長	通 年
(8)	化学物質特にPCBの管理取り扱い適正化		常務	通 年

■計画の実施(Do)

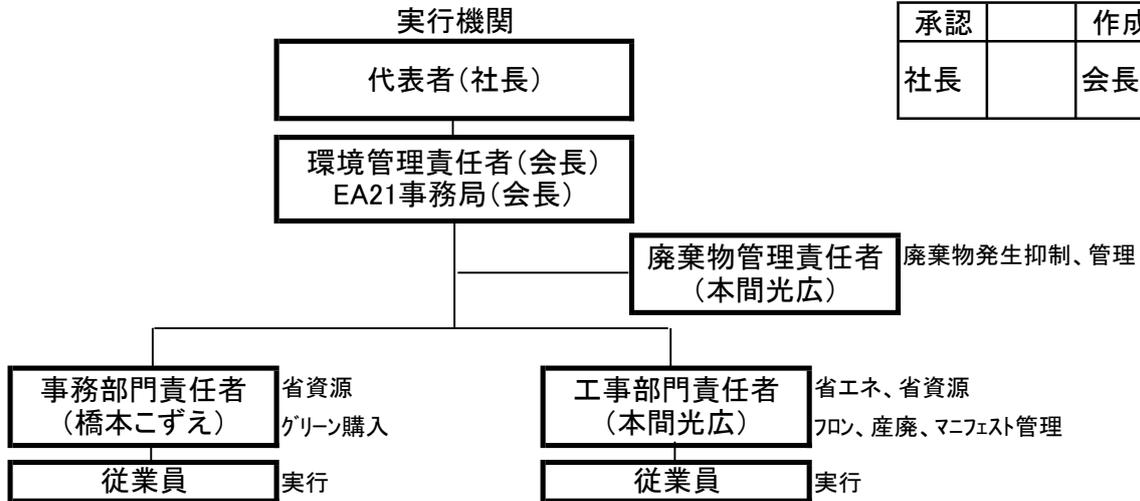
レポート: 6

(6)環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

要求7. 実施体制の構築

修正 2023年4月1日

承認		作成
社長		会長



名称	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。

(回覧ルート) 社長→全部門責任者

改訂履歴

改訂数	改訂理由	改訂月日	承認	作成者
1	本制強化のため、安村を常務に変更	2013/4/1	社長	社長
2	工事部門責任者を本間健士に変更	2014/10/1	社長	社長
3	事務局を会長に、廃棄物管理責任者を本間光広に、	2019/4/1	社長	会長

■取り組み状況の確認及び評価(Check)

(8)環境関連法規などの遵守状況の確認及び違反・訴訟の有無

レポート:8

要求5:環境関連法規などの取りまとめ

対象	法令等	当社が順守すべき事項	順守状況
1.環境一般	環境基本法	環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境の保全についての基本理念を規定。	○
2.地球環境	地球温暖化対策の推進に関する法律(地球温暖化対策法)	温室効果ガスの排出抑制等のための措置に関する計画策定や、その措置計画・実施状況の報告及び事業者自ら温室効果ガスの排出量を算定し、特定排出者にあつては排出量の報告などを規定。	○
	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(オゾン層保護法)	国際的に協力してオゾン層の保護を図ることを目的として、ウィーン条約やモントリオール議定書を的確かつ円滑に実施するための特定物質の製造の規制並びに排出の抑制及び使用の合理化に関する措置等を規定。	○
3.廃棄物	循環型社会形成推進基本法	循環型社会の形成についての基本原則を定め、事業活動に伴う廃棄物の排出の抑制などの事業者等の責務を規定。	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	廃棄物の排出抑制や適正処理の推進のため、多量排出事業者の処理計画や実施状況の報告、特定管理産業廃棄物管理責任者の設置など事業者の責務を規定。マニフェストの確実な発行。	○
4.リサイクル	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律(容器包装リサイクル法)	容器包装廃棄物の分別収集、再商品化義務などを規定。	○
	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	特定家庭用機器(エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機)の引き取り、引渡し、再商品化の義務などを規定。	○
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	資源の有効利用及び廃棄物の適正処理のため、建設資材の再資源化努力、分別解体の事前届出、解体工事業者の登録などを規定。	○
5.グリーン購入	国等による環境物品等の調達に関する法律(グリーン購入法)	環境物品等の調達努力、情報提供の実施等を規定。 ※国・独立行政法人のみ調達実績の公表・通知義務あり。	○
6.温暖化	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	オゾン層を破壊したり地球温暖化に深刻な影響をもたらすフロン類の大気中への排出を抑制するため、特定製品に使用されているフロン類の回収及び破壊を実施するための措置等を規定。	○
7.危険物	消防法	火災の予防や災害の軽減のため、指定数量以上の危険物の貯蔵量や貯蔵施設について許可・届出を規定。	○
	高圧ガス保安法	高圧ガスによる災害防止のため、高圧ガスの製造や貯蔵の許可・届出を規定。	—

*環境関連法規への違反はありません。なお関係当局より違反等の指摘はありません

■取組の状況と確認及び評価、目標(Check)

レポ7

(7)環境経営目標及び計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の目標及び計画

要求10:環境経営目標の実施状況、評価、目標

環境経営目標・実施項目及び運用達成状況、目標

環境 経営目標	実績・取組及び結果	値・評価(排出量)	次年度目標
電力消費削減	<ul style="list-style-type: none"> 消費電力の大幅削減できた 空調温度設定ほぼ実行できた 	目標値よりさらに6%の削減ができた 冬21℃ 夏28℃	更に2%削減
燃料削減	<ul style="list-style-type: none"> 全車両合計で達成できた エコドライブの徹底できた 車両入替時にエコカーにした 	目標に対し12%削減 アイドリング、タイヤ圧配慮し 燃料比較した	基準年比74% 継続する 継続する
一般廃棄物削減 (紙・缶・瓶)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できた 	5%削減できた	更に削減する
産業廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> 引き取り廃棄物は大幅に増えた 排出先の追跡調査 	廃棄物の出る工事を受注 マニフェスト確実に実行(担当:本間光広)	受注工事に左右される マニフェスト実行
節水	<ul style="list-style-type: none"> 散水、洗車は最小限の水で 作業服の洗濯はまとめて 	2%削減できた 実行している	1%の削減
グリーン購入推進	<ul style="list-style-type: none"> 項目品目を拡大 	担当:橋本こずえ	品目増やす
提案営業推進	<ul style="list-style-type: none"> 営業部署の勉強会できた 	難しかった	技術部で検討
地域コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 取引先とのコミュニケーション 立地地域とのコミュニケーション 一般社会とのコミュニケーション 	レポートの発信できなかった 神社・自治会に貢献 相模原地球温暖化対策協議会の活動に参加	継続する 継続する
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> PCBを取扱うことはなかった フロンガス取扱いの適正化 	回収を確実に実施できた	
健康施工	<ul style="list-style-type: none"> 改良工具の採用 防塵工具の採用 	送風型ジャケット購入 研り工具の買い替え	

■全体の評価と見直し(Act)

(9)代表者による全体の評価と見直し・指示

要求14. 代表者による評価と見直し指示

レポ:9

代表者	環境管理責任者
社長	会長

代表者による全体の評価と見直し記録

- 定期見直し (事業年度終了後)
 - 臨時見直し
- 実施日: 2024年6月10日

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規制等の遵守状況(遵守評価の結果) □ 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし ※ ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり □ 問題なし ※ ④前回までの代表者の指示事項への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済み □ 未対応				[環境方針] 変更の必要性: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 当面変更なし。	
[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)				[目標・活動計画] 変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ・消費電力削減目標を2%にあげる ・燃料の消費量を同様2%削減する	
[改善への提案] ・緊急事態に想定した火災への対応訓練が実施されていなかったことから、会社の年間行事に織り込んで確実に実施するようにした。				[その他] 変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ・教育訓練計画書では、PCB漏洩時の対応を想定していたが、現実としてPCB混入機器の減少により、朝礼や会議などでの注意喚起教育とする。	
[目標項目]				[総括] (環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)	
電力による二酸化炭素削減	108%	◎	屋上への太陽光パネル設置による	今年度CO2発生量が目標値を達成できたのは、一昨年事務所屋上に、太陽光パネルを設置したことによると考えられる。今年度はさらに工場の屋根にパネルを設置し、Co2削減を検討中である。	
自動車による二酸化炭素削減	113%	◎	低燃費車両の導入		
一般廃棄物の削減	107%	◎	発生の抑制		
産業廃棄物の削減	77%	×	再資源化率向上を図る		
建設副産物のリサイクル率の向上	100%	○	金属類はほぼリサイクル実施		
水道水の削減	102%	○	トイレの水節水、水やり調整		
溶剤の使用量削減			
グリーン購入の推進	100%	○	今後も推進に努める		
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より ・周辺住民からの苦情はない。地元自治会との関係はとても良い状態で、元代表が自治会役員を引き受けたり、夏祭りや神社の行事には電気工事や資器材の提供などで協力している。また、環境NGOオイスカに対しては、25年にわたり支援している。今後も継続する。 ②環境関連法規制等の動向他 2013年4月より小型家電リサイクル法が施行された。 [改善への提案] ・小型家電リサイクル法における自治体の動向を注視し、ビジネスチャンスを見逃さないようにしたい。					
代表者が自ら得た情報					
相模原市地球温暖化対策協議会に会社元代表が参画し、経験や知識を会の運営に役立てると同時に、エコアクション21の取り組みに役立つ情報を得てくる。					